

## 令和七年度交通安全ファミリー作文コンクール優秀作品集の発刊に当たって

皆様には、日頃から交通安全活動に御尽力をいただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。  
さて、昨年の交通事故による死者数は、二千五百四十七人で、前年と比較して百十六人減少し、統計が残る昭和二十三年以降で、最少となりました。

しかしながら、今なお多くの尊い命が交通事故で失われていることには変わりなく、次代を担う子どもが犠牲となる痛ましい交通事故や、飲酒運転をはじめとする悪質・危険な運転による重大な交通事故も依然として後を絶ちません。政府が目標とする世界一安全な道路交通を実現するためには、各界各層の一層の連携した取組が必要と考えております。

交通事故は、国民の誰もが当事者となるおそれのある身近な問題です。安全で快適な交通社会を実現するために、国民の皆様一人一人が交通ルールを守り、自動車や自転車の運転者、歩行者がそれぞれ相手の立場に配慮し、思いやりの気持ちをもって交通マナーを実践していくなど、積極的に交通安全に関わっていくことが大切です。

「交通安全ファミリー作文コンクール」は、家庭、学校、地域等において交通安全について話し合ったこと、また、これらを通じて思ったことや感じたことなどについて、作文を通じて国民の皆様が共有することで、具体的な交通安全活動の実践につながる取組として四十七年の永きにわたり続いてまいりました。

今年度も小学一年生から中学三年生まで三千四百二十九名の応募をいただきました。

本書は、その応募作品の中から、最優秀作（内閣総理大臣賞）をはじめとする優秀作品をまとめたものです。この作品集を通じて、国民の皆様が交通事故のない社会を願う気持ちを共有し、そのことが更なる交通ルールの遵守と交通マナーの向上につながることを心から期待しております。

結びに、本事業の実施に当たり、御協力いただいた関係の方々には厚く御礼申し上げます。

令和八年二月

警察庁交通局長 日下真一